

■ 論文 ■

語種イメージの分析

——大学生と小学生の調査より——

菊地 悟*

(1990年1月20日受理)

Satoru KIKUCHI

An Analysis of the Images of Original Japanese Words, Chinese
Loanwords, and Western Loanwords : On the Research into
University Students and Elementary School Pupils

外来語・漢語・和語という語種の間にはイメージの差があることは、従来漠然とは指摘されてきたが、客観的な調査の結果が提示された例はない。そこで大学生を対象にアンケート調査を行い、イメージの差を数量データとしてとらえ、さらに因子分析・クラスター分析といった多変量解析の手法を用いて分析を行った。結果として和語と漢語のイメージには語によってばらつきがあり、境界が曖昧であるが、外来語のイメージには一定の傾向が認められることを確認できた。あわせて小学生の調査結果との対照も行い、大学生と小学生とはイメージの持ち方に違いがあることを見出した。

〔キーワード〕 語種、イメージ、SD法、因子分析、クラスター分析

1 目 的

日本語の語彙は、その出自から和語・漢語・外来語（洋語）の3種に大別できる。場合によっては、一つの意味・概念に対応する表現が、三つの語種すべてに存在するということもある。

* 岩手大学教育学部

よく引き合いに出される例としては「ホテル・旅館・やどや」があげられる。しかし、料金を払って宿泊する施設という点では同じであっても、「ホテル」といえば洋間にベッド、各室にバスルームがある洋風の施設というイメージ（語感）、「旅館」「やどや」といえば、和室に布団、浴場といった純日本の施設というイメージを抱いている人が多いと思われる。また「旅館」と「やどや」を比較すると前者の方が後者よりも規模が大きく、設備が良い、さらには、値段が高いというような相違が感じられよう。

同様の例として「ライス・御飯・めし」があげられる。この場合も、「ライス」といえば、洋食屋やレストランにおいて、皿に盛られたものをフォークやスプーンで食べるといったイメージ、「御飯」「めし」については、広義には食事一般を指す場合もあるが、狭義には、家庭や食堂において、茶碗やどんぶりによそわれたものを箸で食べるといったイメージが一般的であろう。さらに、「御飯」より「めし」の方が下品な言い方という印象がある¹⁾。

一般的には和語よりも漢語、漢語よりも外来語の方が近代的、高級というイメージがあると言われている。このようなイメージはかなり定着しているようであるが、これらのイメージが常に実体と一致しているとはいえない。「ホテル」という触れ込みの施設が実質上「旅館」であることもままたり、ラーメン屋や大衆食堂では「ライス」といってもどんぶりや茶碗に盛られていることが多い。

しかし、そうした呼称と実体の不一致に、多少なりとも違和感があるということは、むしろイメージの定着の度合を示すことになる。そもそも呼称により実体とは違うイメージを与えること自体、イメージの定着を利用しているわけである。とりわけ、和語・漢語で言える場合でも外来語を乱用する傾向はよく指摘されるところである。

こうしたイメージの差は、従来指摘されてはいたが、特定の語についての主観的な記述にとどまっている感があり、それぞれの語種のイメージとして一般化できるかどうかには客観的な検証が必要であろう。イメージという漠然としたものを明確化するために、多人数のイメージを集約する形で数量的にとらえてみようというのが本稿の目的である。

2 調査の概要

多人数の語種イメージを集約するためにアンケート調査を行った。対象は岩手大学教育学部学生に限定されるが、137名の協力が得られた。

イメージの測定にはSD法（semantic differential 法・意味微分法）の手法を利用した。これは対象を、あらかじめ用意した両極性形容語対について評定させることにより、対象に対する感情的反応をとらえる手法である。一般にSD法では10から20個の形容語対

について5～7段階の尺度で評定させるが、今回は、次の10個の形容語対について「どちらでもない」を間にはさんだ3段階で評定させることにした。3段階にしぼったのは、先に行った岩手大学附属小学校児童に対する調査と整合性を持たせる必要上からである。

好き・・・・・・・・・・きらい	女らしい・・・・・・・・男らしい
新しい・・・・・・・・・・古い	子供っぽい・・・・・・・・大人っぽい
やわらかい・・・・・・・・かたい	きどってる・・かざりけがない
軽い・・・・・・・・・・重い	かっこいい・・・・・・・・かっこ悪い
きれい・・・・・・・・・・きたない	おもしろい・・・・・・・・つまらない

評価の対象となる和語・漢語・外来語の組合せには、「スイミング・水泳・泳ぎ」「クエスション・問題・問い」「フレンド・友人・友」を選んだ。「ホテル・旅館・やどや」「ライス・御飯・めし」ではイメージの差が固定しすぎているきらいがあり、物自体の違いが反映されることは目に見えている。したがって、表現される対象自体に歴然とした差はないと考えられる組合せを選んだのである。一組の組合せにしぼらなかったのは、ある組合せにおけるイメージの差をもって語種による差と断言することの危険性を回避するとともに、同じ語種の語形が同じようなイメージを持たれているかどうか判断できるようにするためである。

「泳ぎ」「問い」「友」を平仮名表記ではなく漢字表記で示したのは、平仮名にすると語種のイメージの差ではなく、片仮名・平仮名・漢字という文字のイメージの差になってしまう恐れがあったからである²⁾。文字の影響を排除するためにはすべて同じ文字で表記するか、音声で示すかが考えられるが、便宜的に一般的な表記法で示した。

具体的な質問形式は別表に掲げておく³⁾。

3 各評価の平均値

調査の結果得られた、各語形に対する評価を点数化してみた。具体的には、前記の各形容語対のうち左項を選んだ回答には1点、右項を選んだ回答には-1点、「どちらでもない」には0点を与えて、平均点を出すという方法をとった⁴⁾。その結果を表1～3および図1～3に示す。

三つの図を比べてみると、おおよそ外来語については同じような傾向が見られ、和語・漢語はおおむね外来語と逆の評価を受けているようである。ただ、和語と漢語の区別は必ずしも明確とは言えないようであり、同じ形容語対であっても、和語・漢語のどちらの語

形に傾向が強いかは、その組合せによって変わってくるようである。

はたして語種によるイメージの差があるのかどうか、まだ判然としない点がある。項を改めて統計的な手法により分析を加えることにしたい。

表1

(+) (-)	スイミング	水 泳	泳 ぎ
好き 嫌い	0.10	0.18	-0.11
新しい 古い	0.77	-0.11	-0.53
やわらかい かたい	0.56	-0.53	-0.08
軽い 重い	0.83	-0.40	-0.19
きれい きたない	0.59	0.24	-0.05
女らしい 男らしい	0.24	-0.32	-0.30
子供っぽい 大人っぽい	0.05	-0.22	0.14
きどってる かざりけない	0.66	-0.44	-0.65
かっこいい かっこ悪い	0.01	0.05	-0.19
おもしろい つまらない	0.15	-0.04	-0.02

表2

(+) (-)	クエスチョン	問 題	問 い
好き 嫌い	0.12	-0.11	-0.01
新しい 古い	0.71	-0.26	-0.50
やわらかい かたい	0.53	-0.81	-0.31
軽い 重い	0.85	-0.75	-0.37
きれい きたない	0.34	0.04	0.05
女らしい 男らしい	0.08	-0.23	-0.02
子供っぽい 大人っぽい	0.00	-0.43	-0.20
きどってる かざりけない	0.65	-0.27	-0.54
かっこいい かっこ悪い	0.32	-0.01	-0.09
おもしろい つまらない	0.33	-0.23	-0.17

表3

(+) (-)	フレンド	友 人	友
好き 嫌い	0.19	0.40	0.26
新しい 古い	0.69	-0.27	-0.73
やわらかい かたい	0.64	-0.30	-0.54
軽い 重い	0.81	-0.32	-0.59
きれい きたない	0.45	0.26	0.21
女らしい 男らしい	0.41	-0.17	-0.37
子供っぽい 大人っぽい	0.22	-0.39	-0.53
きどってる かざりけない	0.59	-0.34	-0.23
かっこいい かっこ悪い	0.26	0.07	0.08
おもしろい つまらない	0.12	0.03	0.02

図1

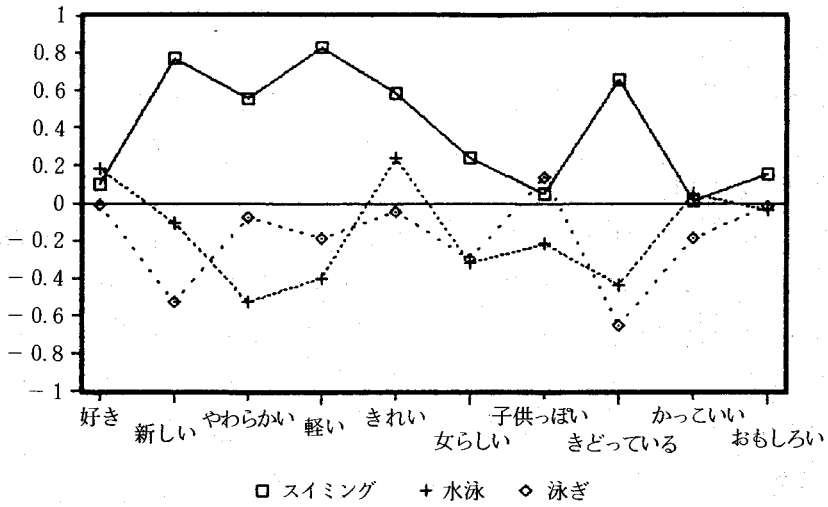


図2

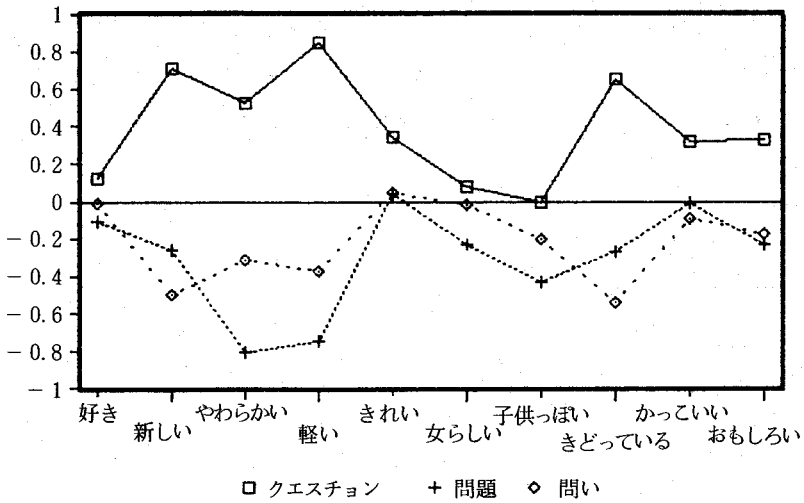
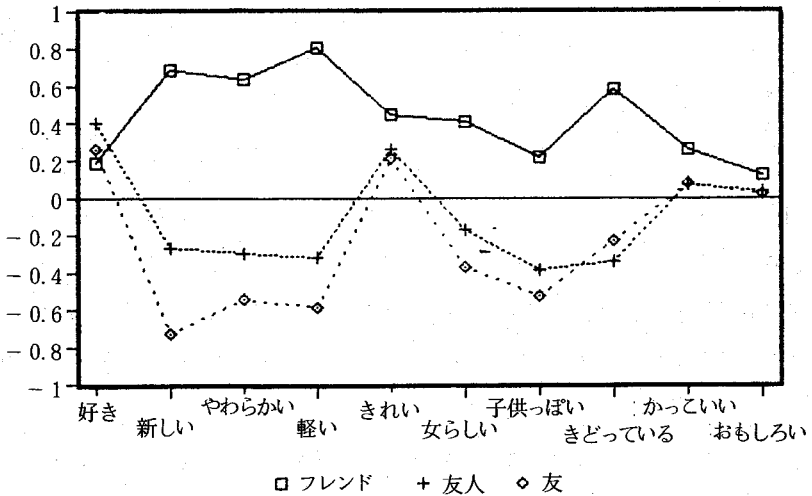


図3



4 分 析

4.1 因子分析

各語形のイメージの相違が語種によるものかどうかを検証するために、多変量解析のいくつかの方法から、因子分析の方法を使う。9個の語形をサンプルと考え、それぞれに対する10個の評価の平均点をデータとする。10個の形容語対を、似通ったものは一つの因子にまとめることで、いくつかの因子にまとめてしまう。複雑に見える各語形の評価の違いも、因子の数がしぼられれば、因子ごとの得点を座標平面上に位置づけることで、より明快に把握できるのである。

パーソナル・コンピュータによる分析の過程で、すべての変数（形容語対）について共通性（変数の分散のうち因子によって説明される部分の比率）の推定値を1（重相関2乗の方法を用いての結果）として、因子数を2とした場合に最もよい結果が得られることが明らかになった。バリマックス法を用いて因子軸を直交回転させた後の各変数の因子負荷量を表4に示す。

表4

(+) (-)	1 因子	2 因子
1. 好き 嫌い	-0.106368	-0.882692
2. 新しい 古い	0.915199	-0.260175
3. やわらかい かたい	0.955127	-0.160050
4. 軽い 重い	0.968958	-0.215117
5. きれい きたない	0.683730	-0.598598
6. 女らしい 男らしい	0.899996	-0.092925
7. 子供っぽい 大人っぽい	0.853067	0.304068
8. きどってる かざりけない	0.854910	-0.405210
9. かっこいい かっこ悪い	0.475167	-0.722292
10. おもしろい つまらない	0.693578	-0.558717

1因子は「新しい・やわらかい・軽い・きれい・女らしい・子供っぽい・きどってる・おもしろい」といった評価から成り、2因子は「嫌い・かっこ悪い」といったマイナスの評価から成る。1因子は「軽い（軽快・軽薄）」、2因子は「嫌い（嫌悪）」で表されるようである。すなわち大学生の各語形に対するイメージは、軽いか重いか、嫌いか好きかという2つの要素で決定されているようである。

先の9個の語形についてそれぞれの因子の得点を見ると表5のようになり、さらに2個の因子を座標軸とする平面上に示すと図4のようになる。

表 5

	1 因子	2 因子
1. スイミング	0.805984	-0.235537
2. 水 泳	-0.339499	0.048488
3. 泳 ぎ	-0.353233	0.398079
4. クエスチョン	0.806545	-0.371868
5. 問 題	-0.617308	0.348430
6. 問 い	-0.412791	0.327963
7. フ レ ン ド	0.914069	-0.329359
8. 友 人	-0.274230	-0.148943
9. 友	-0.529538	-0.037255

図 4

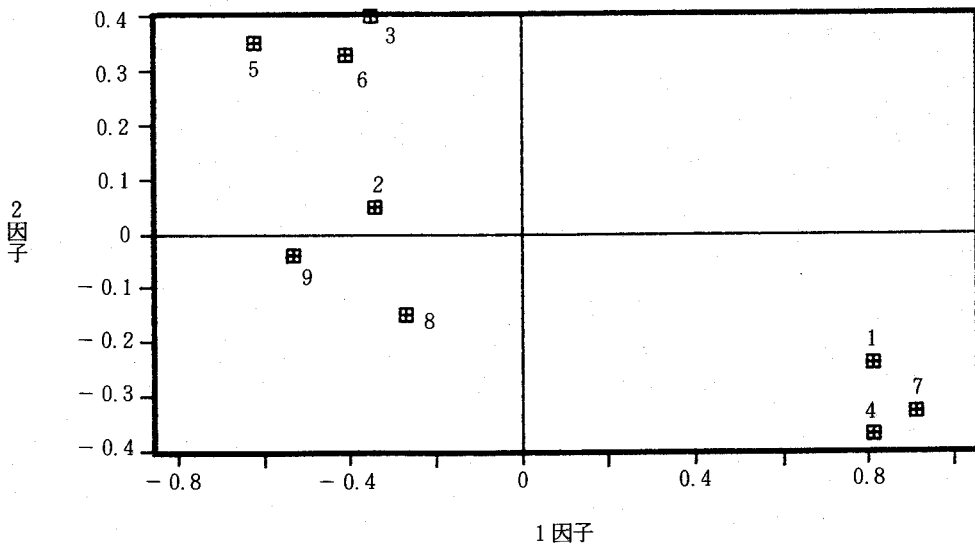


図4を見ると、9個の語形は3語ずつ3個のグループに分かれていることがわかる。

まず1因子が正で2因子が負、すなわち軽くて好かれている「スイミング・クエスチョン・フレンド」であり、いずれも外来語である。

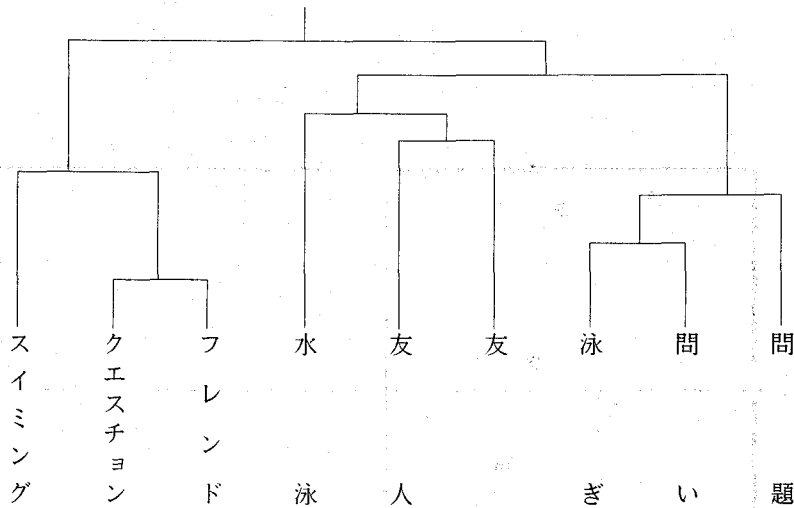
他の2個のグループはいずれも1因子が負であり、重いイメージがあるが、2因子が正のものや0に近いもの、すなわち嫌われているものと、好みに関しては中立的なもの2グループに分けられる。前者は「泳ぎ・問題・問い」、後者は「水泳・友人・友」であり、必ずしも語種の違いとは一致していない。前者には和語、後者には漢語が2語ずつ含まれてはいるが、「問題」「友」が同語種のものから孤立して、むしろ他の語種に接近しているために、和語と漢語の境界が曖昧になっているといえる。

ここで見る限りにおいては、和語と漢語といったグループ分けより「泳ぎ・問題・問い」「水泳・友人・友」というグループ分けの方が、はるかに自然であると思われる。

4.2 クラスタ分析

語形のまとまりと語形間の距離をさらに明確にするためにクラスタ分析を行った。各語形の1因子、2因子の得点をデータにして、語形間の非類似度の指標にユークリッド距離を用い、ウォード法を用いて樹状図を描いたところ、図5のようになった。

図5



外来語が1クラスターを形成していることは改めて述べるまでもない。他のクラスターを見ると、「泳ぎ・問題・問い」では「泳ぎ」と「問い」が近接していて同語種のものゆえの近さとも考えられるが、「水泳・友人・友」では同語種の「水泳・友人」よりも「友人・友」の方が距離が近く、意味のうえでの近さの方が優先している。

こうしてみると、語種のイメージよりも語形自体のイメージの方が優先する場合があるということになる。

以上、4.1, 2 で見てきたことをまとめると、語種のイメージに関しては、①外来語が独自の位置を占めていること、②漢語と和語は語形によってイメージが違ってくること、の2つが言えそうである⁵⁾。

4.3 小学生との相違

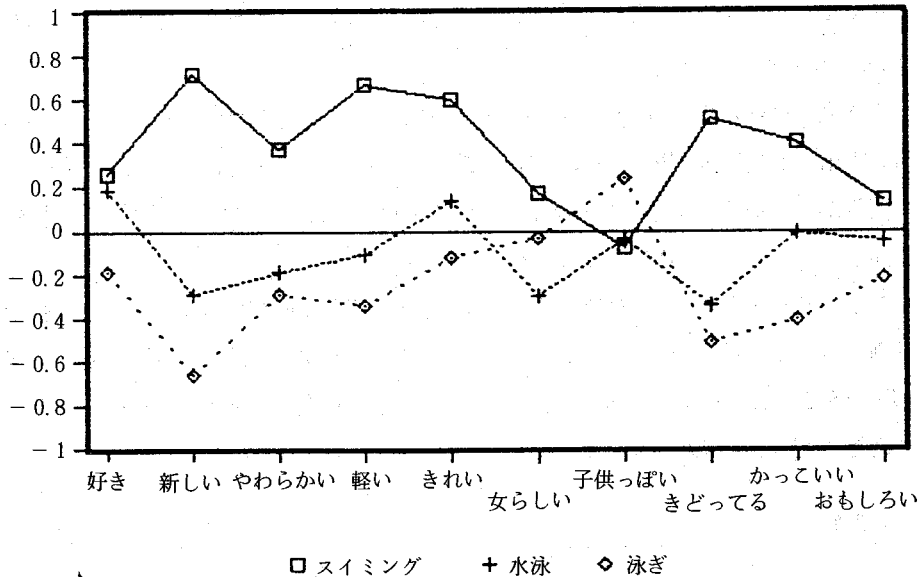
前項までで大学生の傾向は一応見ることができたが、これを先に行った小学生の調査の結果と対照して検討を加えてみる。

調査は岩手大学附属小学校5、6年の児童243人を対象に、「スイミング・水泳・泳ぎ」という組合せについてのみ行ったが、結果は表6および図6に示すとおりである。

表 6

(+) (-)	スイミング	水 泳	泳 ぎ
好き きれい	0.26	0.19	-0.19
新しい 古い	0.72	-0.29	-0.66
やわらかい かたい	0.37	-0.19	-0.29
軽い 重い	0.67	-0.11	-0.34
きれいな きたない	0.60	0.14	-0.12
女らしい 男らしい	0.17	-0.30	-0.03
子供っぽい 大人っぽい	-0.08	-0.04	0.24
きどってる かざりけない	0.51	-0.34	-0.51
かっこいい かっこ悪い	0.40	-0.01	-0.41
おもしろい つまらない	0.14	-0.05	-0.22

図 6



いものを正、小学生の方が高いものを負とする。「*」の数が多いほど差の有意度が高いものである。

「スイミング」に対しては、「やわらかい・軽い・きどってる」と評価する傾向は大学生の方が強いが、「好き・かっこいい」は小学生の方が強い。大学生よりも小学生の方が好意的な評価を与えているようである。これは、わずかつつではあるが、大学生が「子供っぽい」、小学生が「大人っぽい」と逆の評価を与えていることと関係するようと思われる。外国語教育を受けていない小学生にとっては未知の外来語に対する憧れがあるのではないだろうか。

表7

(+) (-)	スイミング	水泳	泳ぎ
好き 嫌い	-0.164*	-0.014	+0.178*
新しい 古い	+0.042	+0.183***	+0.125*
やわらかい かたい	+0.188**	-0.333***	+0.208**
軽い 重い	+0.165**	-0.287***	+0.151*
きれい きたない	-0.006	-0.105*	+0.064
女らしい 男らしい	+0.072	-0.022	-0.270***
子供っぽい 大人っぽい	+0.133*	-0.174**	-0.100
きどってる かざりけない	+0.151**	-0.101	-0.144*
かっこいい かっこ悪い	-0.388***	+0.059	+0.222***
おもしろい つまらない	+0.010	+0.001	+0.200**

* ; P < 0.05 ** ; P < 0.01 *** ; P < 0.001 (Pは危険度)

「水泳」に対しては、「かたい・重い・きれい・大人っぽい」は大学生の方が強く、「古い」は小学生の方が強い。また「泳ぎ」に対しては、「男らしい・かざりけない」は大学生の方が強く、「嫌い・古い・かたい・重い・かっこ悪い・つまらない」は小学生の方が強い。

小学生の調査の際、「泳ぎ」に「かたい・重い」という、大和言葉のイメージとかけ離れた評価が出て意外に思ったが、大学生ではむしろ「水泳」の方に「かたい・重い」という評価が出ている。すなわち小学生と大学生では「かたい・重い」に関して「水泳」と「泳ぎ」のイメージに逆転がみられる。

こうしてみると小学生の語種イメージは大学生と異なる面があるようである。小学生の評価についても因子分析を行ってみたところ、大学生の場合と同じく共通性を1と推定、因子数を2として、バリマックス回転を行ったとき、最良の結果が得られた。バリマックス回転後の因子負荷量を表8に示す。

表8

(+) (-)	1 因子	2 因子
1. 好き 嫌い	0.992726	0.120396
2. 新しい 古い	0.724245	0.689542
3. やわらかい かたい	-0.635757	0.771889
4. 軽い 重い	0.693939	0.720034
5. きれい きたない	0.791059	0.611740
6. 女らしい 男らしい	-0.061377	0.998115
7. 子供っぽい 大人っぽい	-0.995899	-0.090475
8. きどってる かざりけない	0.647377	0.762170
9. かっこいい かっこ悪い	0.874513	0.485001
10. おもしろい つまらない	0.862149	0.506656

1因子は「好き・新しい・きれい・大人っぽい・かっこいい・おもしろい」といった評

価、2因子は「やわらかい・軽い・女らしい・きどってる」といった評価から成っている。1因子は「大人っぽい」、2因子は「女らしい」で表されるようである。大学生の場合と単純に比較はできないが、小学生にとって大人っぽいか子供っぽい、女らしいか男らしいか、といったことが判断の要因となっているのではないだろうか。

表9は3語形の因子得点であるが、大学生の場合と因子の中身が違ううえ、他の組合せとの比較ができないので、参考までに示しておくにとどめる。

表9

	1 因子	2 因子
1. スイミング	0.700224	0.608867
2. 水 泳	-0.023817	-0.218969
3. 泳 ぎ	-0.676407	-0.389898

5 むすび

以上のように大学生の語種イメージについて分析し、部分的にはあるが小学生と比較してみた。

外来語に関しては語種のイメージと呼べるものがありそうであるが、和語・漢語に関しては、むしろ否定的な結果が出てきた。

しかし、3つの組合せ、9語形について調査した程度では、一般的な結論とはいえないかもしれない。もっと語形を増やせば、さらに混沌とする恐れもあるが、むしろ傾向が見えてくる可能性もある。また、語形の選択についても検討の余地がある。たとえば「友」を「友だち」と替えれば、かなり違う結果が出てくるであろう。評定についても段階を増やせば、数値の信頼性を向上させることであろう。

今回はSD法の手法を使ったが、他にもチェックリスト法（多数の形容語を並べ、当てはまるものをチェックさせる方法）などを使うこともできる。今後もいろいろ試行錯誤を重ねつつ、より正しい分析を目指したいと思う。

（付記）

本稿のうち小学生の調査の部分は、昭和63年度教育研究学内特別経費（岩手大学教育学部）による研究成果の一部である。アンケート実施にあたっては附属小学校の諸先生方に多大の協力をいただいたことを、心から感謝申し上げる。

注

- 1) 『日本語教育事典』の「語種」の項には、「和語には俗っぽい感じが付きまとうのに対して、漢語・外来語には、優雅で洗練された感じがある」として、「それは、和語が日々いたるところで、あらゆる人に使われていて、いわば日本人の手あかと汗のしみついた生活語であるところから来ている。和語の使われる回数や場面と和語の語感とに、深い結び付きのあることを認識すべきである。」とある。
- 2) 文字のイメージに関する研究の一例をあげれば、海保・野村(1983) p. 130に「大学生の漢字と仮名に対するイメージ」のSD法による調査の結果が図示されていて、漢字には「難しい」「重い」「複雑」「硬い」というマイナスのイメージがあると述べてある。
- 3) 本稿では特に外来語の特性が明らかになるように、項目によっては調査表と左右を入れかえている。
- 4) 「どちらでもない」と左右の中間にマークしたものは ± 0.5 点を与えた。
- 5) 前掲『日本語教育事典』には、「旅」と「若者」を例に出して「和語の方がゆかしく雅語めいていてひびく場合や重々しさを感じさせる場合も中にはある。」とある。「友」の場合もこれに含まれそうである。
- 6) ここに限り、平均値と標準偏差を小数点以下3桁にして計算してある。

参考文献

- 岩下豊彦 1983 『SD法によるイメージの測定』(川島書店)
- 遠藤哲夫・大野真男・菊地悟「現代小学生の漢字・漢語観——岩大附属小学校でのアンケート集計結果より——(昭和63年度教育研究学内特別経費(岩手大学教育学部)研究報告書『漢字・漢語教育の歴史と展開』)海保博之・野村幸正 1983 『漢字情報処理の心理学』(教育出版)
- 海保博之 1984 『漢字を科学する』(有斐閣選書)
- 古谷野亘 1988 『数学が苦手な人のための多変量解析ガイド』(川島書店)
- 中野 洋 1979 「擬声語・擬態語のイメージ——意味微分法による分析——(正・続)」(『計量国語学』11-7、8)
- 日本語教育学会編 1982 『日本語教育事典』(大修館書店)
- 渡部 洋(編著) 1988 『心理・教育のための多変量解析法入門』(福村出版)

(別表)

日本語では、同じ意味のことを言うのに3通り(A、B、C)の言い方をすることがあります。A、B、Cのことばに対するイメージとして当てはまるものを○でかこんでください。また意味、ニュアンス、使い方など違いがあると思う場合には下欄に記入してください。

(1)

A. スイミング				B. 水 泳				C. 泳 ぎ			
例	明るい	どちらでもない ない	暗い	明るい	どちらでもない ない	暗い	明るい	どちらでもない ない	暗い		
1	好き	どちらでもない ない	きらい	好き	どちらでもない ない	きらい	好き	どちらでもない ない	きらい		
2	新しい	どちらでもない ない	古い	新しい	どちらでもない ない	古い	新しい	どちらでもない ない	古い		
3	かたい	どちらでもない ない	やわらかい	かたい	どちらでもない ない	やわらかい	かたい	どちらでもない ない	やわらかい		
4	軽い	どちらでもない ない	重い	軽い	どちらでもない ない	重い	軽い	どちらでもない ない	重い		
5	きれい	どちらでもない ない	きたない	きれい	どちらでもない ない	きたない	きれい	どちらでもない ない	きたない		
6	男らしい	どちらでもない ない	女らしい	男らしい	どちらでもない ない	女らしい	男らしい	どちらでもない ない	女らしい		
7	子供っぽい	どちらでもない ない	大人っぽい	子供っぽい	どちらでもない ない	大人っぽい	子供っぽい	どちらでもない ない	大人っぽい		
8	きどってる	どちらでもない ない	かざりけがない	きどってる	どちらでもない ない	かざりけがない	きどってる	どちらでもない ない	かざりけがない		
9	かっこいい	どちらでもない ない	かっこ悪い	かっこいい	どちらでもない ない	かっこ悪い	かっこいい	どちらでもない ない	かっこ悪い		
10	おもしろい	どちらでもない ない	つまらない	おもしろい	どちらでもない ない	つまらない	おもしろい	どちらでもない ない	つまらない		

[]